

4 制作された年代順に 作品を見てみよう!

ジャコメッティの彫刻には、さまざまなかたちやシリーズがあります。彫刻をじっくりと観察しながら、ジャコメッティが何を探していたのか考えてみましょう。

1926/27年



《女=スプーン》
145×51×21cm マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

1946年
1947年



《小像》
23.5×7×10cm
マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

《大きな像(女:レオーニ)》
167×19.5×41cm
マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

1947年



《鼻》
81.3×71.1×36.8cm 大阪新美術館建設準備室

1950年



《林間の空地、広場、9人の人物》
65×52×60cm マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

1951年



《犬》
47×100×15cm マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

1956年



《ヴェネツィアの女I》
104×14×29.5cm マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

1960年



《大きな頭部》
95×30×30cm マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

5 ジャコメッティの彫刻

展示されているジャコメッティの彫刻のほとんどは、ブロンズという金属でできています。日本では青銅とよばれるブロンズは、銅と錫という異なる二つの金属がとけて混ざった合金です。違う金属が混ざると、金属はとても丈夫になるので、ジャコメッティがつくった彫刻は長い時間経っても壊れずに残すことができます。

ジャコメッティは、人間の姿を見えるとおりに彫刻にしたいと考えていました。生きた人間が目の前にいるというあたりまえのことが、ジャコメッティにとってはおどろくべきことだったのです。生きた人間から感じるおそろしさや美しさを表現するために、髪や服などよけいなものがだんだんそぎ落とされ、細長い彫刻が生まれました。



《3人の男のグループ(3人の歩く男たち)》
1948/49年、72×32×31.5cm
マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

6 《歩く男I》を 観察してみよう!

① 彫刻を見るときは、作品のまわりをゆっくりと歩いてみよう!

彫刻の大きさやかたちは、見る角度によって変化します。近づいたり、遠ざかったりしながら、《歩く男I》が一番細く見える場所を探してみましょう。近づいていくと、ジャコメッティがかたちをつくる時につけた、指や工具の跡が残っていて表面がゴツゴツとしているのが見えます。

② ポーズについて考えてみよう!

長身の人物は、どこかに向かって歩いています。どれくらいのスピードで歩き、どこに向かっているのか考えてみましょう。

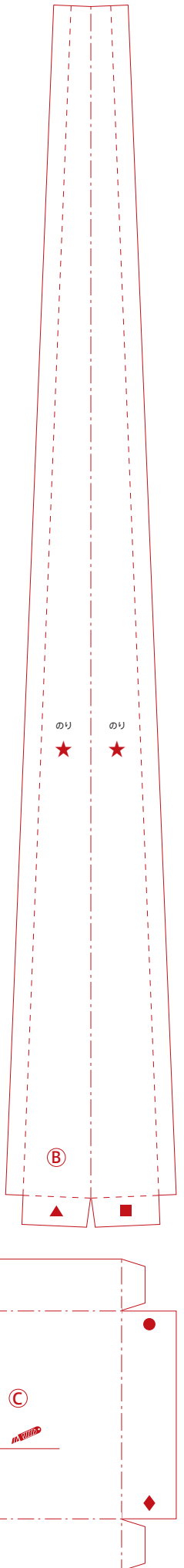
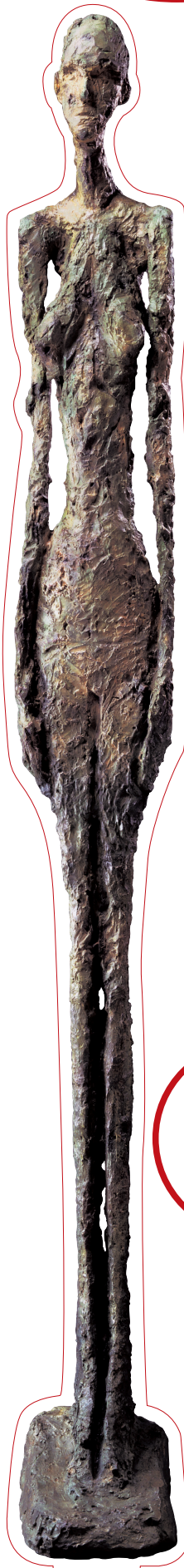


《歩く男I》
1960年、183×26×95.5cm
マルグリット&エメ・マール財団美術館、サン=ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

ジャコメッティ展 ジュニアガイド

ALBERTO GIACOMETTI

Collection Fondation Marguerite et Aimé Maeght



1 ジャコメッティ展

スイスに生まれ、フランスで活躍した彫刻家アルベルト・ジャコメッティ（1901-1966年）の作品が東京にやってきました。画家だった父ジョヴァンニの影響を受けて、幼いころから芸術に関心を持っていたジャコメッティ。パリに出て、人の体を細長く引きのばした自分だけのスタイルの彫刻を生み出したことで知られています。このガイドを見ながら展示室をめぐり、ジャコメッティやその作品について考えてみましょう。

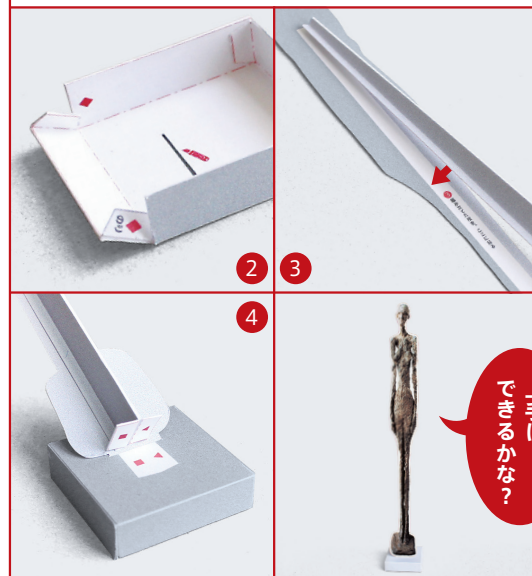
ペーパークラフトをつくろう！

高さが約2.7メートルある《大きな女性立像II》は、会場の中でもひととき大きく、最晩年のジャコメッティがつくった代表作の一つです。このガイドでは、《大きな女性立像II》のペーパークラフトが出来るようになっていきます。作品を見て、どのように感じたのか思い出しながらつくってみましょう。

準備
するもの： ハサミ カッター のり 定規

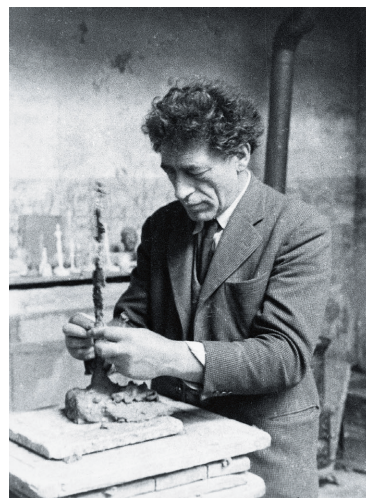
- 1 ハサミとカッターを使って、キリトリ線にそって部品をていねいに切りぬきます。
- 2 柱⑧と台座①をつくります。同じ記号が重なるように点線の部分を折り、のりで貼り合わせます。
- 3 ②でつくった柱を立像写真④の裏側に貼りつけます。
- 4 ③でつくったものを台座の切りこみに差しこんだらできあがり！

ポイント！ 山折り・谷折りはカッターであさくスジをつけると、きれいに折れるよ！



上手にできるかな？

2 ジャコメッティについて 知ろう！



作品を制作するジャコメッティ（撮影：矢内原伊作、協力：みすず書房）

- **1901年**
10月10日、スイスの小村ボルゴノーヴォに生まれ、となり村のスタンパで育つ。
- **1922年（21才）**
フランスのパリに出て、美術学校で学んだり、美術館で模写にはげむ。
- **1926年（25才）**
パリのモンパルナス、イポリット＝マンドロン通り46番地に住み始め、一生ここでくらす。
- **1930年（29才）**
パリの作家たちが行う芸術活動に参加し、現実ばなれしたかたちの作品をつくるようになる。
- **1935年（34才）**
写生をもとに、「見えるものを見えたとおり」につくることを決意する。
- **1945年（44才）**
このころから細長い人物像をつくり始める。
- **1956年（55才）**
日本人の哲学者、矢内原伊作をモデルに制作を行う。
- **1960年（59才）**
アメリカのニューヨークにあるチェース・マンハッタン銀行の広場のために、《歩く男》、《女性立像》、《大きな頭部》を制作する。
- **1962年（61才）**
第31回ヴェネチア・ビエンナーレの彫刻部門で大賞を受賞し、国際的に高く評価される。
- **1966年（64才）**
1月11日、スイスのクールで亡くなる。

3 ジャコメッティの パリのアトリエ

ジャコメッティは、昼すぎに近所のカフェで遅めの朝食をとり、午後いっぱい、ときには深夜までアトリエで作品をつくった後、ふたたび夕食のために出かけ、友人たちと会話する生活を送っていました。また、気さくな性格で知られるジャコメッティのアトリエは、いつもお客さんでにぎわっていました。いまでも、ジャコメッティのアトリエは、モンパルナスのイポリット＝マンドロン通り46番地にひっそりとこのかされています。



スイスの小村スタンバ（2016年撮影）



いまものこるジャコメッティのアトリエ（2016年撮影）



アトリエ内部の様子（撮影：矢内原伊作、協力：みすず書房）

マルグリット& エメ・マールグ財団美術館

マールグ財団美術館は、パリで画廊を営んでいたマールグ夫妻のコレクションをもとに、南フランスのサン＝ポール・ド・ヴァンスに1964年に開館した美術館です。ジャコメッティのほかミロやシャガールといった作家たちの名品を所蔵しています。

展示されている作品の多くは
ここからやってきました！



マルグリット&エメ・マールグ財団美術館、サン＝ポール・ド・ヴァンス
Archives Fondation Maeght, Saint-Paul de Vence (France)

ALBERTO GIACOMETTI

Collection Fondation Marguerite et Aimé Maeght

国立新美術館開館10周年 ジャコメッティ展

会期 | 2017年6月14日(水)～9月4日(月) ※毎週火曜日休館
会場 | 国立新美術館 企画展示室1E
開館時間 | 10:00～18:00
※金曜日、土曜日は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで
主催 | 国立新美術館、マールグ財団美術館、TBS、朝日新聞社
共催 | 東急エージェンシー、ソニー・ミュージックエンタテインメント
後援 | スイス大使館、フランス大使館、BS-TBS、J-WAVE、TBSラジオ
協賛 | 日本写真印刷
協力 | 日本航空、あいおいニッセイ同和損保

ジャコメッティ展 ジュニアガイド

編集 | 国立新美術館 教育普及室
執筆 | 澤田将哉
デザイン | 林琢真、鈴木晴奈(林琢真デザイン事務所)
印刷 | 株式会社ライブアートブックス
発行 | 国立新美術館、TBS
発行日 | 2017年6月14日
http://www.nact.jp/
http://www.tbs.co.jp/giacometti2017/